

平成 25 年度

西米良村地域循環型社会形成推進地域計画



宮崎県 西米良村

平成 25 年 1 月 4 日

西米良村地域循環型社会形成推進地域計画

宮崎県 西米良村

平成 25 年 1 月 4 日

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

| | |
|--------|--|
| 構成市町村名 | 西米良村 |
| 面積 | 271.56km ² (平成 23 年 全国都道府県市区町村別面積調) |
| 人口 | 1,272 人 (平成 23 年 10 月 1 日現在) |
| 該当地域 | 山村地域、過疎地域 |

※別添付資料として対象地域図を添付した。(添付資料①)

(2) 計画期間

本計画は、平成 25 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

西米良村地域(以下、「本地域」という。)は、宮崎県の西部に位置し、児湯郡に属している。総面積は 271.56 k m²であり、主要産業は農業である。また、本地域では交流人口促進による村の活性化を図るとともに、快適な定住地の形成に努めながら魅力ある自然や風土、歴史、文化など地域固有の資源にテーマ性を持たせた地域づくりを推進している。

本地域のごみ処理は、西都児湯環境整備事務組合(構成市町;西都市・高鍋町・新富町・木城町・川南町・都農町・西米良村)の西都児湯クリーンセンター及びエコクリーンプラザみやざき(財団法人宮崎県環境整備公社)で行っている。今後のごみ処理は、現状体制を維持するものとし、本地域の住民、事業者、行政の三者が協働することで、発生抑制、再利用・再生利用の促進、適正処理を推進し、循環型社会の構築を目指す。

なお、本地域では、ごみの広域処理に対応した効率的な収集運搬体制を整備するため、収集した資源ごみ等を一時保管するストックヤードの整備を計画している。

本地域の生活排水処理は、公共下水道・集落排水施設及び合併処理浄化槽の整備・普及に努めており、今後も水環境の向上を目指し、合併処理浄化槽の整備を推進していく。

(4) 広域化の検討状況

ごみについては、西都児湯環境整備事務組合(構成市町;西都市・高鍋町・新富町・木城町・川南町・都農町・西米良村)で広域処理を実施しており、今後も現状体制で適正処理・処分を継続する計画である。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成 23 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 1 のとおりである。

総排出量は、274 トンであり、再生利用される「総資源化量」は 66 トン、リサイクル率は 24.1% である。

中間処理による減量化量は 183 トンであり、計画処理量の排出量のおおむね 7 割が減量化されている。また、計画処理量の約 9.1% に当たる 25 トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 206 トンである。

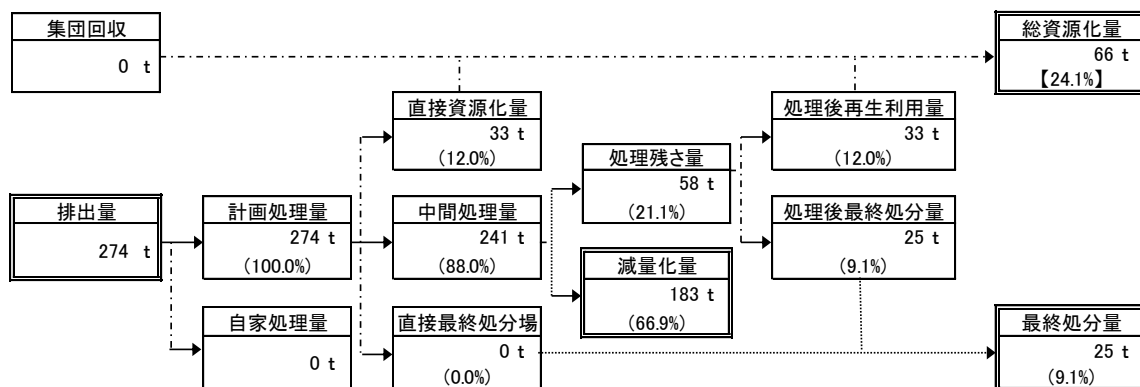


図 1 一般廃棄物の処理状況フロー（現状）

(2) 生活排水の処理の現状

平成 23 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図 2 のとおりである。

生活排水処理対象人口は、全体で 1,272 人であり、水洗化人口は 871 人、汚水衛生処理率は 68.5% である。

し尿発生量は 203k_l/年、浄化槽汚泥発生量は 648k_l/年であり、処理・処分量 (=収集・運搬量) は 851k_l/年である。

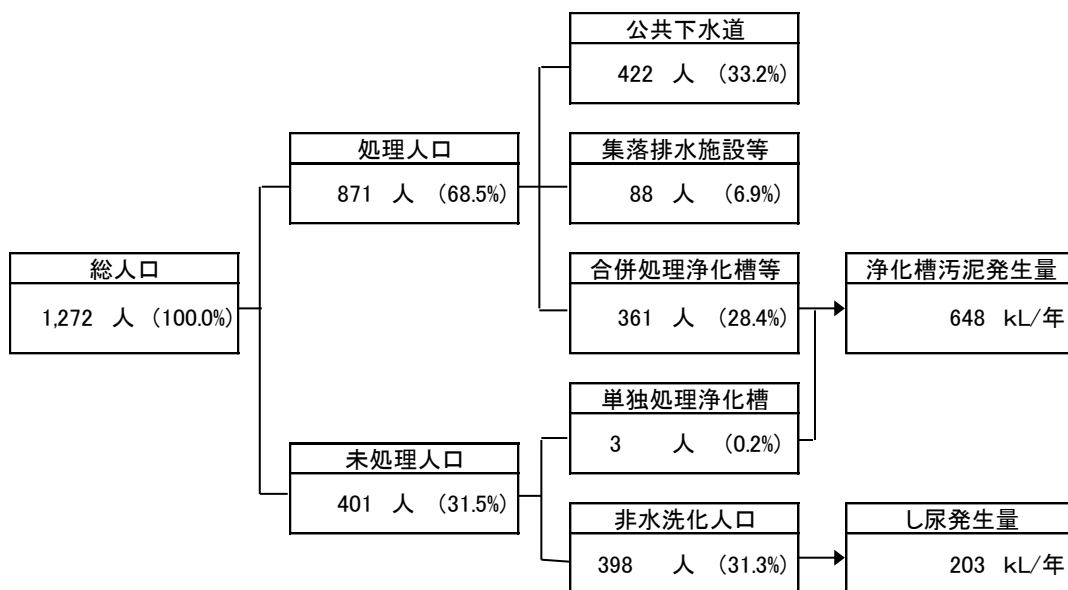


図 2 生活排水の処理状況フロー（現状）

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいく。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標

| 指 標 | | 現状(割合 ^{※1}) (平成23年度) | 目標(割合 ^{※1}) (平成30年度) |
|-------|---------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 排出量 | 事業系 総排出量 | — トン | — トン |
| | 1事業所当たりの排出量 ^{※2} | — トン/事業所 | — トン/事業所 |
| | 家庭系 総排出量 | 274 トン | 226 トン (-17.5%) |
| | 1人当たりの排出量 ^{※3} | 163.5 kg/人 | 142.1 kg/人 (-13.1%) |
| | 合計 事業系家庭系排出量合計 | 274 トン | 226 トン (-17.5%) |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | 33 トン (12.0%) | 30 トン (13.3%) |
| | 総資源化量 | 66 トン (24.1%) | 60 トン (26.5%) |
| 熱回収量 | 総回収量(年間の熱回収量) | — MJ/年 | — MJ/年 |
| 減量化量 | 中間処理による減量化量 | 183 トン (66.9%) | 146 トン (64.6%) |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | 25 トン (9.1%) | 20 トン (8.8%) |

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合。

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} ÷ 事業所数

※3 (1人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} ÷ 人口

※4 家庭系の資源ごみ量は、平成23年度は66トン、平成30年度は60トン

《指標の定義》

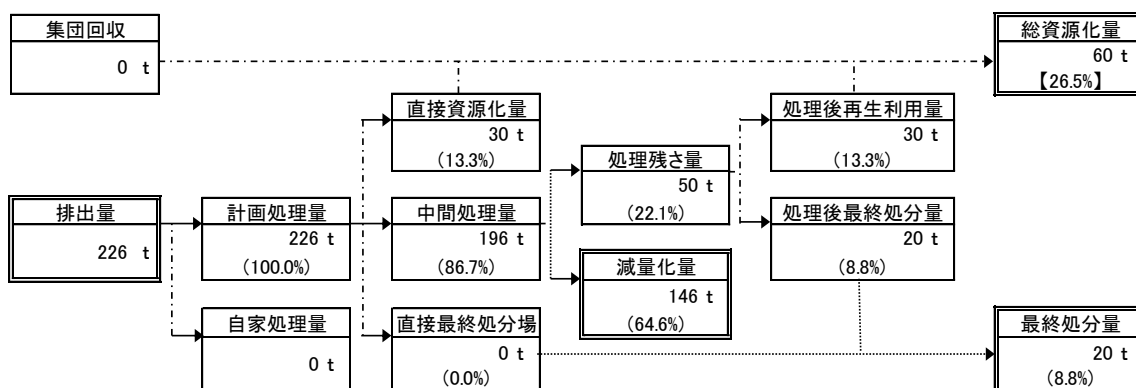
排 出 量：事業系ごみ、家庭系ごみを問わず、出されたごみの量（集団回収されたごみを除く）〔単位：トン〕

再 生 利 用 量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和〔単位：トン〕

熱 回 収 量：熱回収施設において回収された熱回収量〔単位：MJ〕

減 量 化 量：中間処理量と処理後の残渣量の差〔単位：トン〕

最 終 処 分 量：埋立処分された量〔単位：トン〕



※ 総資源化量の【】は総排出量（排出量+集団回収量）に対する割合、それ以外の（）は排出量に対する割合

図3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー

(4) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表 2 に掲げる目標のとおり、公共下水道や集落排水施設への接続を促すとともに合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表 2 生活排水処理に関する現状と目標

| | | (現状)平成23年度 | (目標)平成30年度 |
|---------------------|----------|---------------|---------------|
| 処理 形態 別 人口 | 公共下水道 | 422 人 (33.2%) | 387 人 (33.1%) |
| | 集落排水施設等 | 88 人 (6.9%) | 81 人 (6.9%) |
| | 合併処理浄化槽等 | 361 人 (28.4%) | 428 人 (36.6%) |
| | 未処理人口 | 401 人 (31.5%) | 272 人 (23.4%) |
| 合計 | | 1,272 人 | 1,168 人 |
| し尿 ・ 汚泥 の量 | し尿量 | 203 キロリットル | 138 キロリットル |
| | 浄化槽汚泥量 | 648 キロリットル | 730 キロリットル |
| | 合計 | 851 キロリットル | 868 キロリットル |

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 有料化

家庭系ごみは、可燃ごみ、不燃ごみ及び資源ごみのうち缶・びん類、ペットボトル、容器包装プラスチック類、金属類については有料化しており、指定袋による従量制を導入している。ごみ処理手数料については、ごみ排出量の状況等を踏まえて必要に応じて見直しを検討する。

イ 環境教育、普及啓発、助成

リサイクル活動への意識の向上を図るため、次の活動に努める。

- ・ごみの分け方・出し方の周知
- ・一般廃棄物処理施設の施設見学会の実施
- ・生ごみの自己処理・堆肥化の推進

ウ マイバッグ運動・レジ袋対策

関係機関と協力し、過剰包装を控え簡易包装に努めるとともに、マイバッグ運動(買物袋の持参運動等)を推進する。

エ 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、次の啓発活動の強化を図る。

○住民意識の向上を図るための普及啓発活動の実施

- ・パンフレットやポスターによる広報活動
- ・下水道の日・浄化槽の日に合わせた啓発活動の実施
- ・学校教育における環境教育の実施

○家庭における発生源対策の推進

- ・廃油ポット、三角コーナーネット、拭取り紙等の排出抑制用品の普及
- ・無リン洗剤、せっけんの使用

(2) 処理体制

ア 家庭系ごみの処理体制の現状と今後

家庭系ごみの分別区分及び処理方法の現状と今後は表3に示すとおりである。

本村の家庭系ごみの分別区分は、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ(缶・びん類・ペットボトル、古紙・古布、容器包装プラスチック類、金属類、蛍光灯・乾電池類)である。収集運搬は村が行っており、全て西都児湯クリーンセンターへ搬入している。ごみ処理については、可燃ごみは、西都児湯クリーンセンターの中継施設を経由し、エコクリーンプラザみやざきのごみ焼却施設で処理している。不燃ごみ・粗大ごみ・資源ごみは、西都児湯クリーンセンターで処理している。最終処分については、西都児湯クリーンセンターで発生した不燃残渣については、西都児湯クリーンセンターの最終処

分場で埋立処分し、焼却残渣は、エコクリーンプラザみやぎの最終処分場で埋立処分している。

分別区分及び処理体制は今後も引き続き維持していくものとし、廃棄物の発生抑制と再使用に関する施策に取り組み、分別排出を徹底し、ごみ排出量の削減や再資源化に努めていく。

なお、本地域では、ごみの広域処理に対応した効率的な収集運搬体制を整備するため、収集した資源ごみ等を一時保管するストックヤードの整備を計画している。ストックヤードを整備するに当たっては、平成13年3月に稼働停止した旧ごみ焼却施設「西米良村環境管理センター(2t/日)」を一部解体撤去し、既存の建屋を有効利用する計画である。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後

事業系一般廃棄物については、家庭系ごみと合わせて収集し処理している。また、ごみ減量化や分別を徹底するよう指導しており、今後も同様の体制を継続する。

ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

本地域では、現状及び今後も産業廃棄物を処理する計画はない。

エ 生活排水処理の現状と今後

現状の生活排水処理は、公共下水道、集落排水施設の接続人口の促進及び合併処理浄化槽の整備・普及に努めている。今後も、公共用水域の水質汚濁防止を図るため、引き続き現状の処理体制で生活排水処理施設の整備・普及及びし尿の適正処理に努める。

オ 今後の処理体制の要点

- ◇ ごみの排出抑制と分別の徹底を図る。
- ◇ 事業所から排出されるごみの減量化や分別を徹底するよう指導する。
- ◇ 旧ごみ焼却施設の建屋を有効活用したストックヤードを整備し、収集運搬体制の効率化を図る。
- ◇ 合併処理浄化槽の整備を行う。

表3 家庭系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

| 現 状 (H23) | | | | |
|-----------|-------------|--|-----------------------------------|---------------|
| 分別区分 | 処理方法 | 処理施設等 | | 処理実績 (t/年) |
| | | 一次処理 | 二次処理 | |
| 可燃ごみ | 焼却・溶融 | ○西都児湯クリーンセンター (中継施設) ↓ ○エコクリーンプラザみやざき (ごみ焼却施設) | 焼却残渣 エコクリーンプラザみやざき (最終処分場) | 205 |
| 不燃ごみ | 切断・破碎 | ○西都児湯クリーンセンター (リサイクルプラザ) | 可燃残渣 エコクリーンプラザみやざき (ごみ焼却施設) | 3 |
| 粗大ごみ | | | | 0 |
| 資源ごみ | 缶・びん類 | リサイクル | 不燃残渣 西都児湯クリーンセンター (最終処分場) | 資源物 民間業者 |
| | ペットボトル | | | |
| | 古紙・古布類 | | | |
| | 容器包装プラスチック類 | | | |
| | 金属類 | | | |
| | 蛍光管・乾電池類 | | | |

※ 処理実績は平成23年度の家庭系ごみの処理実績。



| 今 後 (H30) | | | | |
|-----------|-------------|--|-----------------------------------|---------------|
| 分別区分 | 処理方法 | 処理施設等 | | 処理予測 (t/年) |
| | | 一次処理 | 二次処理 | |
| 可燃ごみ | 焼却・溶融 | ○西都児湯クリーンセンター (中継施設) ↓ ○エコクリーンプラザみやざき (ごみ焼却施設) | 焼却残渣 エコクリーンプラザみやざき (最終処分場) | 163 |
| 不燃ごみ | 切断・破碎 | ○(仮称)西米良村ストック ヤード【新設】 ↓ ○西都児湯クリーンセンター (リサイクルプラザ) | 可燃残渣 エコクリーンプラザみやざき (ごみ焼却施設) | 2 |
| 粗大ごみ | | | | 1 |
| 資源ごみ | 缶・びん類 | リサイクル | 不燃残渣 西都児湯クリーンセンター (最終処分場) | 資源物 民間業者 |
| | ペットボトル | | | |
| | 古紙・古布類 | | | |
| | 容器包装プラスチック類 | | | |
| | 金属類 | | | |
| | 蛍光管・乾電池類 | | | |

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

上記(2)の処理体制で処理を行うため、表4に示す施設整備を行う。

表4 整備する処理施設

| 事業番号 | 整備施設種類 | 事業名 | 処理能力 | 設置予定地 | 事業期間 |
|------|---------|---------------------|-------|----------------|---------|
| 1 | ストックヤード | (仮称)西米良村ストックヤード整備事業 | 約550㎡ | 西米良村大字村所字松之本地内 | H25～H26 |

(整備理由)

事業番号1 ごみ処理広域化に対応した収集運搬の効率化

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については表5のとおり行う。

表5 合併処理浄化槽への移行計画

| 事業番号 | 事業 | 直近の整備済基数(基) (平成23年度) | 整備計画基数(基) | 整備計画人口(人) | 事業期間 |
|------|-----------|-------------------------|-----------|-----------|---------|
| 2 | 浄化槽設置整備事業 | 148基 | 15 | 75 | H25～H29 |

(4) 施設整備に関する計画支援事業

上記(3)のアの施設整備に先立ち、表6のとおり計画支援事業を行う。

表6 実施する計画支援事業

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業期間 |
|------|---|-----------------|------|
| 31 | (仮称)西米良村ストックヤード整備事業 (事業番号1)に係る計画支援事業 | ストックヤード 実施設計 | H25 |

(6) その他の施策

その他、本地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電等（家電 4 品目、パソコン）のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法及び資源有効利用促進法に基づく適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力し、普及啓発を行う。

イ 不法投棄対策

不法投棄防止に係る周知啓発やパトロールを継続し、宮崎県、警察、地元自治会等と連携した不法投棄の強化を行う。

ウ 災害時の廃棄物処理に関する事項

宮崎県や周辺自治体と連携し、災害時の対応や災害廃棄物の適正処理方法に関する協議を行う。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本村では、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて宮崎県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行うこととする。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況や整備状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

添 付 書 類

| |
|------------------------------|
| 様式 1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 |
| 様式 2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 |
| 様式 3 地域の循環型社会形成推進に向けた施策の一覧 |
| 参考資料様式 施設概要 |
| 添付資料① 対象地域図 |
| 添付資料② 目標の設定に関するグラフ等 |
| 添付資料③ 現有処理施設の概要 |
| 添付資料④ 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ |
| 添付資料⑤ 地域内の施設の状況と予定（位置図） |

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 25 年度)

1 地域の概要

| | | | | | |
|----------------------------------|--|-----------|--------------------------------|----------|---------------------------------|
| (1) 地域名 | 西米良村地域 | (2) 地域内人口 | 1,272 (H23.10) 人 | (3) 地域面積 | 271.56 (H23.10) km ² |
| (4) 構成市町村等名 | 西米良村 | (5) 地域の要件 | 人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他 | | |
| (6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況 | 組合を構成する市町村： 設立（予定）年月日： 年 月 日 設立、許可予定 設立されていない場合、今後の見通し： | | | | |

※交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

| 年 指標・単位 | | 過去の状況・現状 | | | | | 目標 | |
|-------------|-----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| | | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 30 年度 | |
| 排出量 | 事業系 総排出量 (トン) | — | — | — | — | — | — | |
| | 1 事業所当たりの排出量 (トン/事業所) | — | — | — | — | — | — | |
| | 家庭系 総排出量 (トン) | 255 | 239 | 254 | 260 | 274 | 226 | (H23 比 -17.5%) |
| | 1 人当たりの排出量 (kg/人) | 140.0 | 131.8 | 144.5 | 152.5 | 163.5 | 142.1 | |
| | 合計 事業系家庭系排出量合計 (トン) | 255 | 239 | 254 | 260 | 274 | 226 | (H23 比 -17.5%) |
| 再生利用量 | 直接資源化量 (トン) | 34 (13.3%) | 32 (13.4%) | 31 (12.2%) | 37 (14.2%) | 33 (12.0%) | 30 (13.3%) | |
| | 総資源化量 (トン) | 67 (26.3%) | 68 (28.5%) | 60 (23.6%) | 62 (23.8%) | 66 (24.1%) | 60 (26.5%) | |
| 熱回収量 | 熱回収量 (MJ) | | | | | | | |
| 中間処理による減量化量 | 減量化量 (中間処理前後の差 トン) | 162 (63.6%) | 147 (61.5%) | 172 (67.7%) | 175 (67.4%) | 183 (66.9%) | 146 (64.6%) | |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 (トン) | 26 (10.2%) | 24 (10.0%) | 22 (8.7%) | 23 (8.8%) | 25 (9.1%) | 20 (8.8%) | |

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(添付資料④)

3 一般廃棄物処理施設の状況と更新、廃止、新設の予定

| 施設種別 | 事業主体 | 現有施設の内容 | | | | 更新、廃止、新設の内容 | | | | | 備考 |
|-------------------------------|--------------|----------------------|-------|----------------|----------|-------------|--------------|-------------|----------|----------|-----------------|
| | | 型式及び処理方式 | 補助の有無 | 処理能力(単位) | 開始(竣工)年月 | 更新、廃止予定年月 | 更新、廃止新設理由 | 型式及び処理方式 | 施設竣工予定年月 | 処理能力(単位) | |
| エコクリーンプラザ みやざき (ごみ焼却施設) | (財)宮崎県環境整備公社 | ストーカ +灰溶融 (全連) | 有 | 579 (t/日) | H17.3 | — | — | — | — | — | 継続利用 |
| エコクリーンプラザ みやざき (最終処分場) | (財)宮崎県環境整備公社 | 管理型 | 有 | 54,600 (m2) | H17.9 | — | — | — | — | — | 継続利用 |
| 西都児湯クリーンセンター (リサイクルプラザ) | 西都児湯整備環境事務組合 | 破碎・選別・ 圧縮・梱包 | 有 | 45.00 (t/日) | H17.3 | — | — | — | — | — | 継続利用 |
| 西都児湯クリーンセンター (中継施設) | 西都児湯整備環境事務組合 | 可燃ごみ 中継 | 有 | 86 (t/日) | H17.3 | — | — | — | — | — | 継続利用 |
| 西都児湯クリーンセンター (最終処分場) | 西都児湯整備環境事務組合 | 管理型 | 有 | 15,800 (m2) | H17.4 | — | — | — | — | — | 継続利用 |
| 西米良村環境管理センター (ごみ焼却施設) | 西米良村 | ストーカ (バッチ) | 有 | — | H3.11 | H25.3 | 施設集約 ・老朽化 | — | — | — | H13.3より 稼働停止 |
| (仮称)西米良村ストック ヤード | 西米良村 | — | — | — | — | — | 資源物 一時保管 | ストック ヤード | H27.3 | 約550㎡ | — |

※別添資料として地域内の施設の状況と予定を地図上に示したものを添付した。(添付資料⑤)

4 生活排水処理の現状と目標

| 指標・単位 | 年 | 過去の状況・現状 | | | | | 目標 |
|----------|------------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成30年度 |
| 総人口 | (人) | 1,343 | 1,343 | 1,343 | 1,298 | 1,272 | 1,168 |
| 公共下水道 | 汚水衛生処理人口 (人) | 425 | 425 | 425 | 409 | 422 | 387 |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 (%) | 31.6% | 31.6% | 31.6% | 31.5% | 33.2% | 33.1% |
| 集落排水施設等 | 汚水衛生処理人口 (人) | 88 | 88 | 88 | 88 | 88 | 81 |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 (%) | 6.6% | 6.6% | 6.6% | 6.8% | 6.9% | 6.9% |
| 合併処理浄化槽等 | 汚水衛生処理人口 (人) | 389 | 389 | 389 | 446 | 361 | 428 |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 (%) | 29.0% | 29.0% | 29.0% | 34.4% | 28.4% | 36.6% |
| 未処理人口 | 汚水衛生未処理人口 (人) | 441 | 441 | 441 | 355 | 401 | 272 |

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(添付資料④)

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

| 施設種別 | 実施主体 | 現有施設の内容 | | | 整備予定基数の内容 | | | 備考 |
|-----------|------|---------|------|-------|-----------|------|------|----|
| | | 基数 | 処理人口 | 開始年月 | 基数 | 処理人口 | 目標年次 | |
| 浄化槽設置整備事業 | 西米良村 | 148基 | 361 | H16.4 | 15 | 75 | H29 | |

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成25年度)

| 事業種別 | 事業番号 | 事業主体名 | 規模 | 事業期間 交付期間 | 総事業費(千円) | | | | | | 交付対象事業費(千円) | | | | | | 備考 | | |
|---------------------|------|-------|------|--------------|----------|----|--------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|--------|------------|-----|
| | | | | | 単位 | 開始 | 終了 | 平成 25年度 | 平成 26年度 | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 | 平成 27年度 | 平成 28年度 | | 平成 29年度 | |
| ○再生利用に関する事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ストックヤード | 1 | 西米良村 | 550㎡ | H25 | H26 | | 63,216 | 45,591 | 17,625 | | | | | | | | | | |
| ○浄化槽に関する事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 浄化槽設置整備 | 2 | 西米良村 | 15基 | H25 | H29 | | 8,850 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 4,980 | 996 | 996 | 996 | 996 |
| ○施設整備に関する計画支援に関する事業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業番号1の計画支援事業 | 31 | 西米良村 | | H25 | H25 | | 2,625 | 2,625 | | | | | | | 2,625 | 996 | | | 996 |
| 合計 | | | | | | | 74,691 | 49,986 | 19,395 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 1,770 | 70,821 | 49,212 | 18,621 | 996 | 996 |

様式 3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

| 施策種別 | 施策番号 | 施策の内容 | 施策の内容 | 実施主体 | 事業期間 | | 交付金 必要の 要否 | 事業計画 | | | | | 備考 |
|--------------------|------|--------------------|----------------------------|------|------|-----|------------------|-------------------|------|------|------|------|---------|
| | | | | | 開始 | 終了 | | 平成 | 平成 | 平成 | 平成 | 平成 | |
| | | | | | | | | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | |
| 発生抑制、再生使用の推進に関するもの | 11 | 有料化 | 必要に応じた処理手数料の見直し | 西米良村 | H25 | H29 | | 必要に応じた処理手数料の見直し | | | | | |
| | 12 | 環境教育普及啓発助成 | 分別の周知、生ごみの自己処理・堆肥化の推進 | 西米良村 | H25 | H29 | | ごみ減量化、再生利用に関する啓発等 | | | | | |
| | 13 | マイバッグ運動、レジ袋対策 | 関係機関と協力し、マイバッグ運動等の推進 | 西米良村 | H25 | H29 | | マイバッグ運動の推進 | | | | | |
| | 14 | 生活排水対策 | 家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のための啓発活動 | 西米良村 | H25 | H29 | | 生活排水対策に関する啓発 | | | | | |
| 処理体制の構築、変更に関するもの | 21 | 事業系一般廃棄物の排出事業者への指導 | 適正処理に関する指導 | 西米良村 | H25 | H29 | | 適正処理に関する指導 | | | | | |
| 処理施設の整備に関するもの | 1 | ストックヤードの整備 | ストックヤードの整備 | 西米良村 | H25 | H26 | ○ | 建設工事 | | | | | 関連事業 31 |
| | 2 | 浄化槽設置整備事業 | 合併処理浄化槽の設置促進 | 西米良村 | H25 | H29 | ○ | 合併処理浄化槽整備 | | | | | |
| 施設整備に係る計画支援に関するもの | 31 | 1の計画支援 | ストックヤード実施設計 | 西米良村 | H25 | H26 | ○ | 計画支援 | | | | | 関連事業 1 |
| その他 | 41 | 廃家電のリサイクルに関する普及啓発 | 廃家電リサイクルについての普及啓発 | 西米良村 | H25 | H29 | | 廃家電のリサイクル普及啓発 | | | | | |
| | 42 | 不法投棄対策 | パトロール等の継続 | 西米良村 | H25 | H29 | | パトロール等の継続 | | | | | |
| | 43 | 災害時の廃棄物処理 | 災害廃棄物の迅速処理のための協力体制の構築 | 西米良村 | H25 | H29 | | 協力体制の構築 | | | | | |

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 宮崎県

| | |
|-----------------|--|
| (1)事業主体名 | 西米良村 |
| (2)施設名称 | (仮称)西米良村ストックヤード |
| (3)工期 | 平成 25 年度～平成 26 年度 |
| (4)施設規模 | 約 550 m ² |
| (5)処理方式 | 受入→分別→集積(保管)→搬出 |
| (6)地域計画内の役割 | 循環型社会形成推進の拠点整備の対応として、収集運搬システムの効率化、環境保全の向上を図る。 |
| (7)廃焼却施設解体工事の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> (西米良村環境管理センター2t/日) 無 |

「廃棄物原材料化施設」を整備する場合

| | |
|--------------------|--|
| (8)生成する原材料及びその利用計画 | |
|--------------------|--|

「ごみ固形燃料化施設」を整備する場合

| | |
|------------|--|
| (9)固形燃料の計画 | |
|------------|--|

「ストックヤード」を整備する場合

| | |
|-------------|--|
| (10)ストック対象物 | 缶・びん類・ペットボトル、古紙・古布、 容器包装プラスチック類、金属類、蛍光管・乾電池類、不燃物等 |
|-------------|--|

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

| | |
|----------------------|--|
| (11)容器包装リサイクル推進施設の内訳 | |
|----------------------|--|

| | |
|-----------|-------------|
| (12)事業計画額 | 約 63,216 千円 |
|-----------|-------------|

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 宮崎県

| | |
|-----------------|---|
| (1) 事業主体名 | 西米良村 |
| (2) 事業名称 | 浄化槽設置整備事業 |
| (3) 事業の実施目的及び内容 | 生活排水による河川の水質汚濁を防止し、水環境の保全に努めるため。 |
| (4) 事業期間 | 平成 25 年度～平成 29 年度 |
| (5) 事業対象地域の要件 | 西米良村村生活排水対策総合基本計画に定める流域別生活排水処理施設整備計画の浄化槽計画処理区域 |
| (6) 事業計画額 | 交付対象事業費 4,980 千円 うち ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域促進特別モデル事業に係る事業費 千円 |

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

(単位:千円)

| 区分 | 交付対象基数 (人分) | 基準額 | 対象経費 支出予定額 | 交付対象 事業費 |
|---------|----------------|-------|---------------|-------------|
| 5人槽 | 15基 (75人分) | 4,980 | 8,850 | 4,980 |
| 6～7人槽 | 基 (人分) | | | |
| 8～10人槽 | 基 (人分) | | | |
| 11～20人槽 | 基 (人分) | | | |
| 21～30人槽 | 基 (人分) | | | |
| 31～50人槽 | 基 (人分) | | | |
| 51人槽以上 | 基 (人分) | | | |
| 改築 | 基 (人分) | | | |
| 計画策定調査費 | | | | |
| 合計 | 15基 (75人分) | 4,980 | 8,850 | 4,980 |

計画支援概要（計画支援事業）

都道府県名 宮崎県

| | |
|----------|---------------------|
| (1)事業主体名 | 西米良村 |
| (2)事業目的 | ストックヤード整備のため |
| (3)事業名称 | （仮称）西米良村ストックヤード整備事業 |
| (4)事業期間 | 平成 25 年度 |
| (5)事業概要 | ・ストックヤード実施設計 |
| (6)事業計画額 | 約 2,625 千円 |

添付資料① 対象地域図

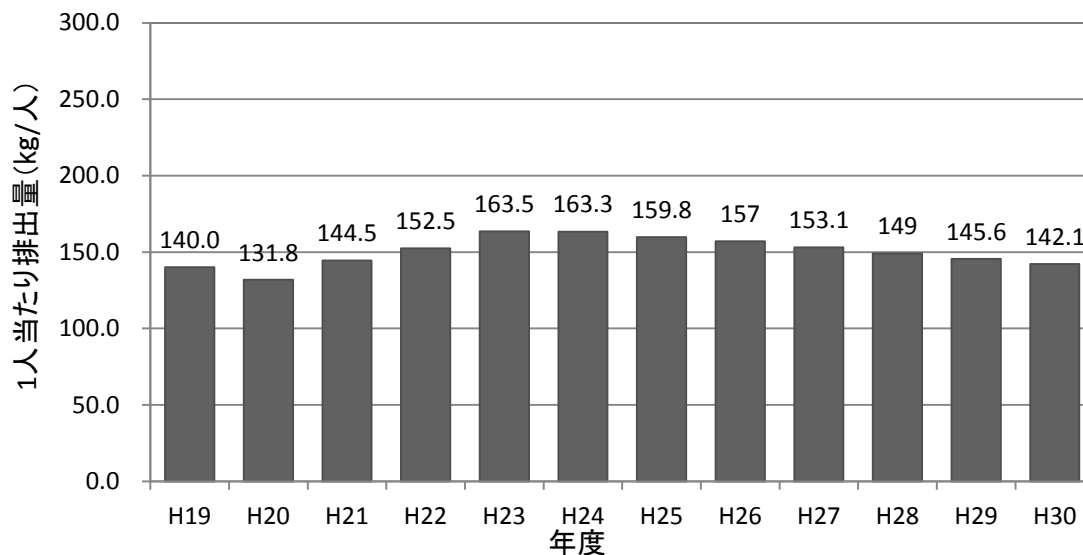
対象地域図



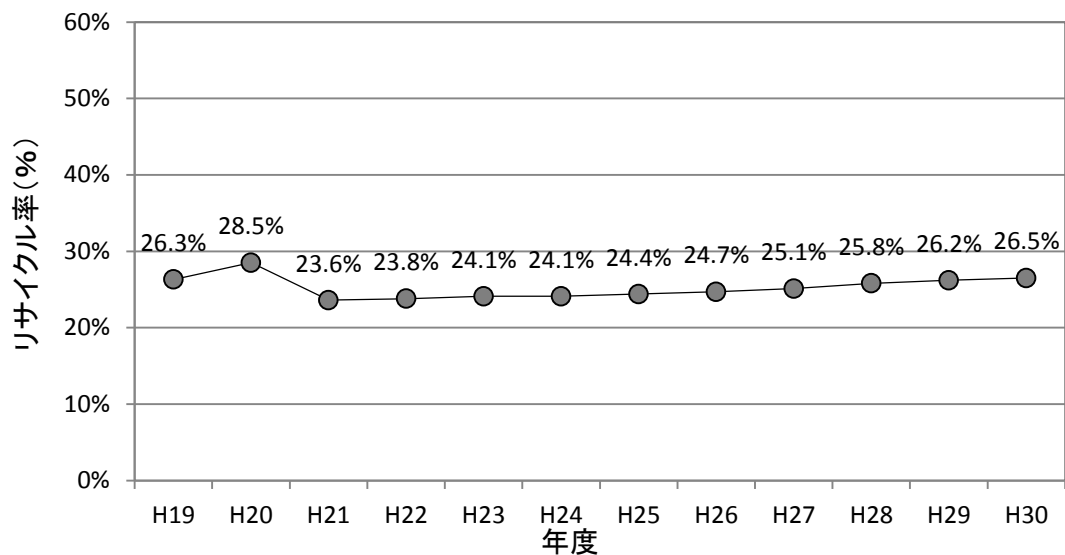
添付資料② 目標の設定に関するグラフ等 (1)

ごみ処理

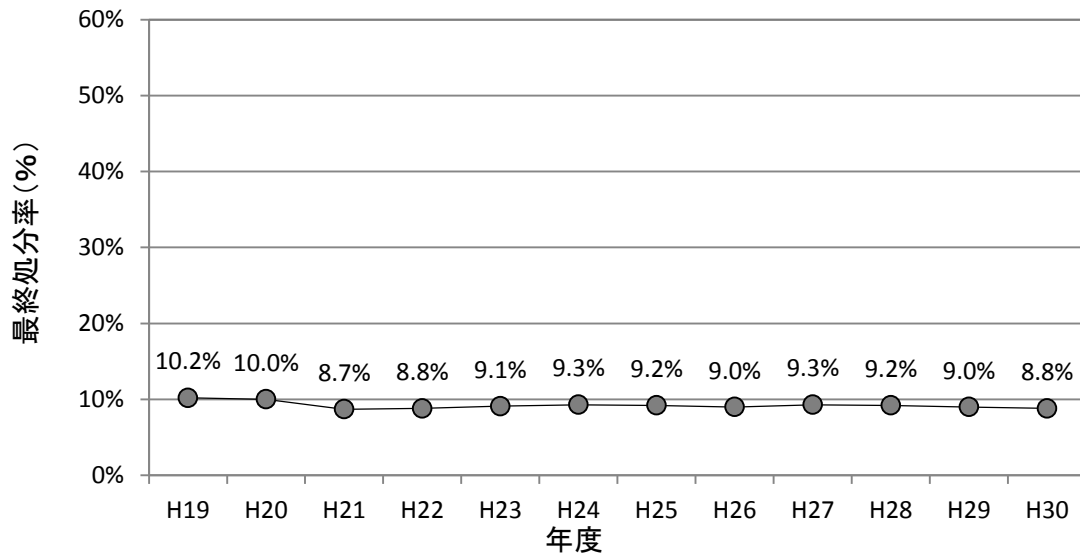
家庭系ごみの1人当たり排出量(資源ごみ量除く)の現状と目標



リサイクル率の現状と目標

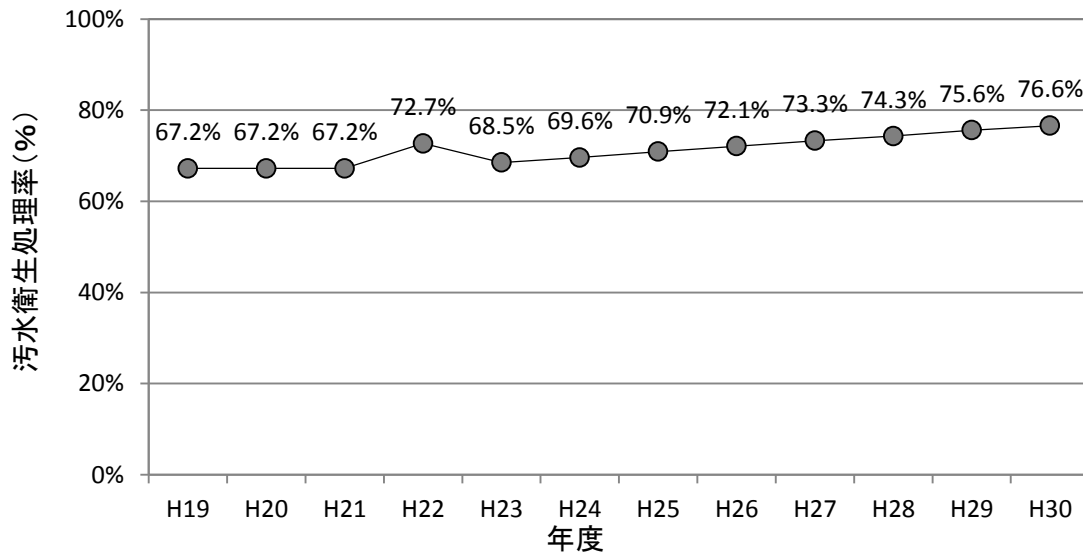


最終処分率の現状と目標



生活排水処理

汚水衛生処理率の現状と目標



添付資料③ 現有処理施設の概要

・ 現有施設の概要

(焼却施設)

| | 概 要 |
|------|----------------|
| 事業主体 | 西米良村 |
| 施設名称 | 西米良村環境管理センター |
| 所在地 | 西米良村大字村所字松之本地内 |
| 処理方式 | ストーカ方式 |
| 炉型式 | バッチ運転方式 |
| 処理能力 | 2t/日(1 炉) |
| 竣工年月 | 平成 3 年 11 月 |
| 稼働停止 | 平成 13 年 3 月 |

| | 概 要 |
|------|--------------------|
| 事業主体 | (財)宮崎県環境整備公社 |
| 施設名称 | エコクリーンプラザみやざき |
| 所在地 | 宮崎市大字大瀬町字倉谷 6176-1 |
| 処理方式 | ストーカ+灰溶融方式 |
| 炉型式 | 全連続燃焼方式 |
| 処理能力 | 579t/日(3 炉) |
| 竣工年月 | 平成 17 年 10 月 |

(資源化を行う施設)

| | 概 要 | | |
|-------|----------------|----------|----------------|
| 事業主体 | 西都児湯環境整備事務組合 | | |
| 施設名称 | 西都児湯クリーンセンター | | |
| 所在地 | 西都市大字南方 6548-1 | | |
| 施設の種類 | リサイクルプラザ | | |
| 処理対象物 | 粗大ごみ、不燃ごみ | ビン、缶類 | ペットボトル、廃プラスチック |
| 処理方法 | 破碎・選別 | 選別・圧縮・梱包 | 選別・圧縮・梱包 |
| 処理能力 | 32t/日 | 0.38t/日 | 6.1t/日 |
| 竣工年月 | 平成 17 年 3 月 | | |

(その他のごみ処理施設)

| | 概 要 | | |
|-------|------------------|--|--|
| 事業主体 | 西都児湯環境整備事務組合 | | |
| 施設名称 | 西都児湯クリーンセンター中継施設 | | |
| 所在地 | 西都市大字南方 6548-1 | | |
| 施設の種類 | 中継施設 | | |
| 処理対象物 | 可燃ごみ | | |
| 処理能力 | 86t/日 | | |
| 竣工年月 | 平成 17 年 3 月 | | |

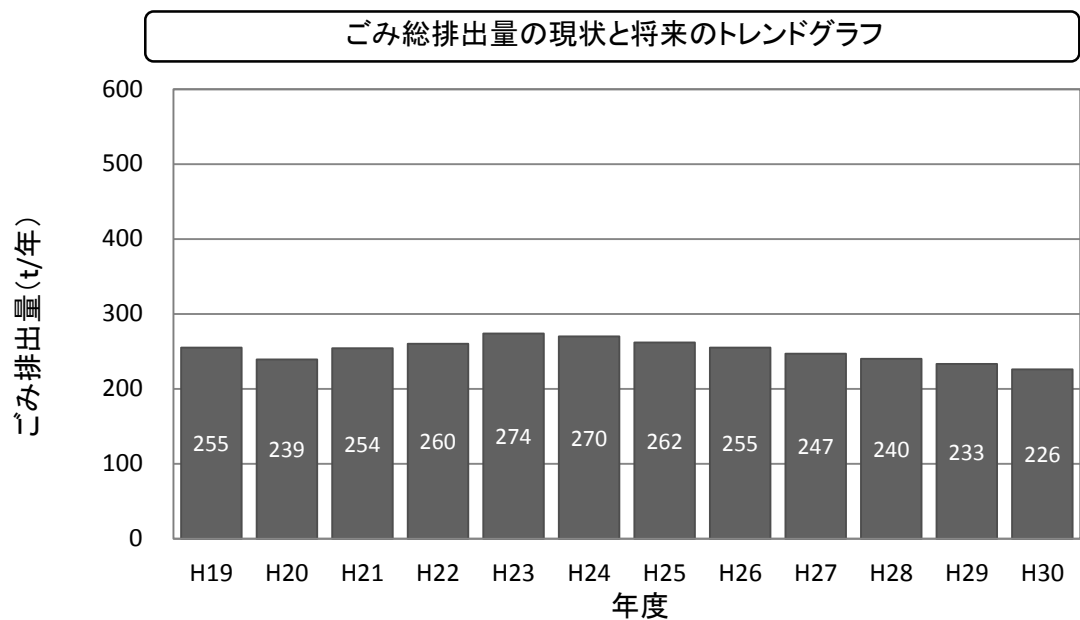
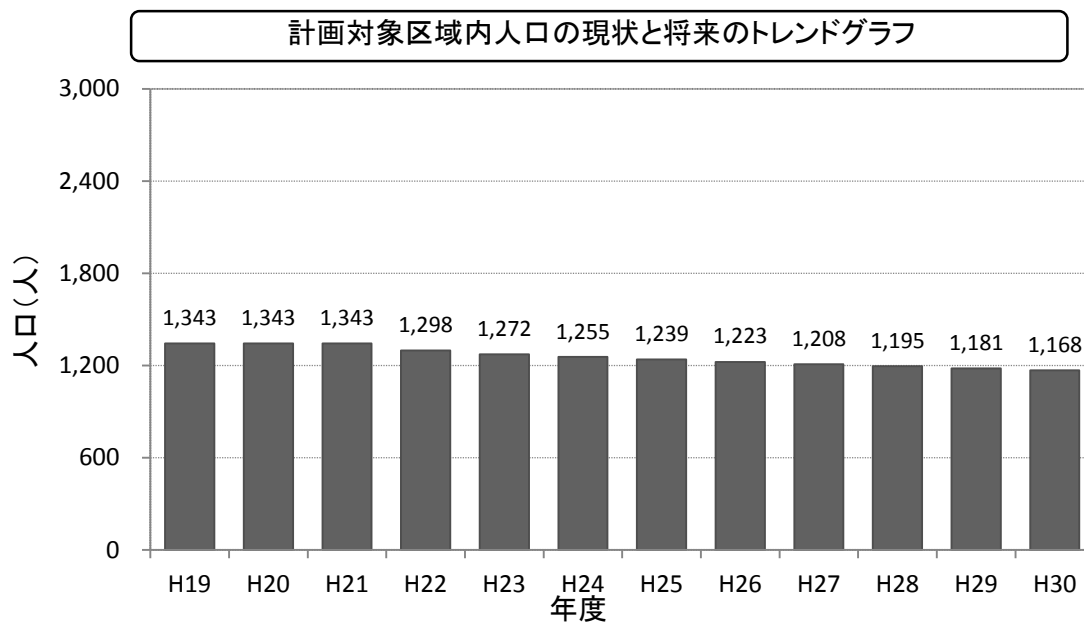
(最終処分場)

| | 概 | 要 |
|--------|-----------------------|---|
| 事業主体 | 西都児湯環境整備事務組合 | |
| 施設名称 | 西都児湯クリーンセンター | |
| 所在地 | 西都市大字南方 6548-1 | |
| 埋立面積 | 15,800 m ² | |
| 全体容量 | 89,000 m ³ | |
| 埋立開始年月 | 平成 17 年 4 月 | |

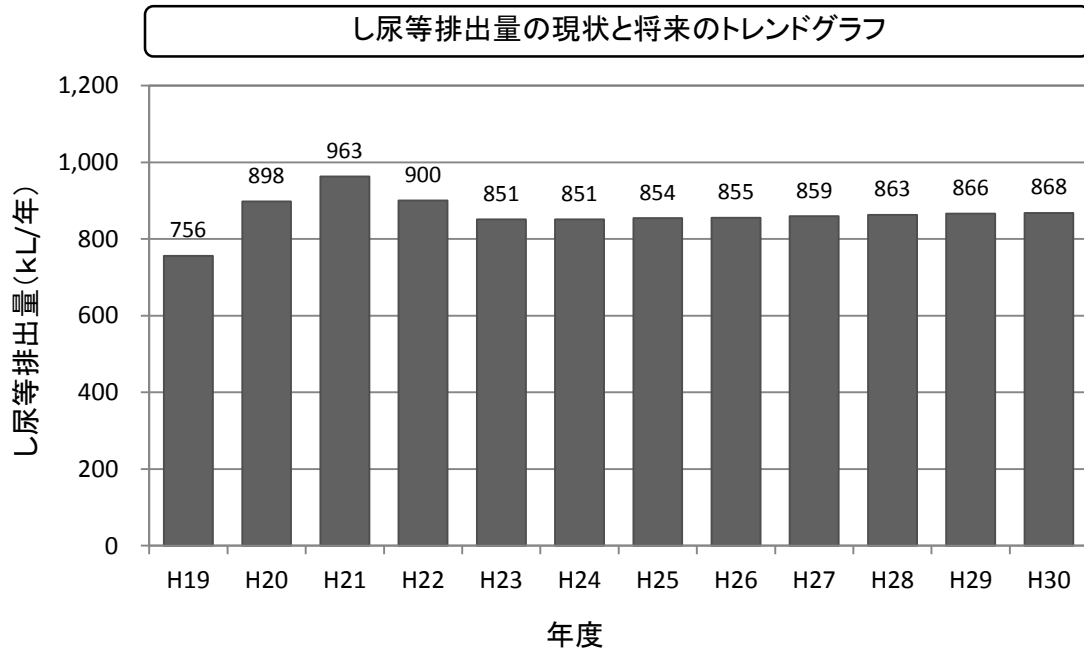
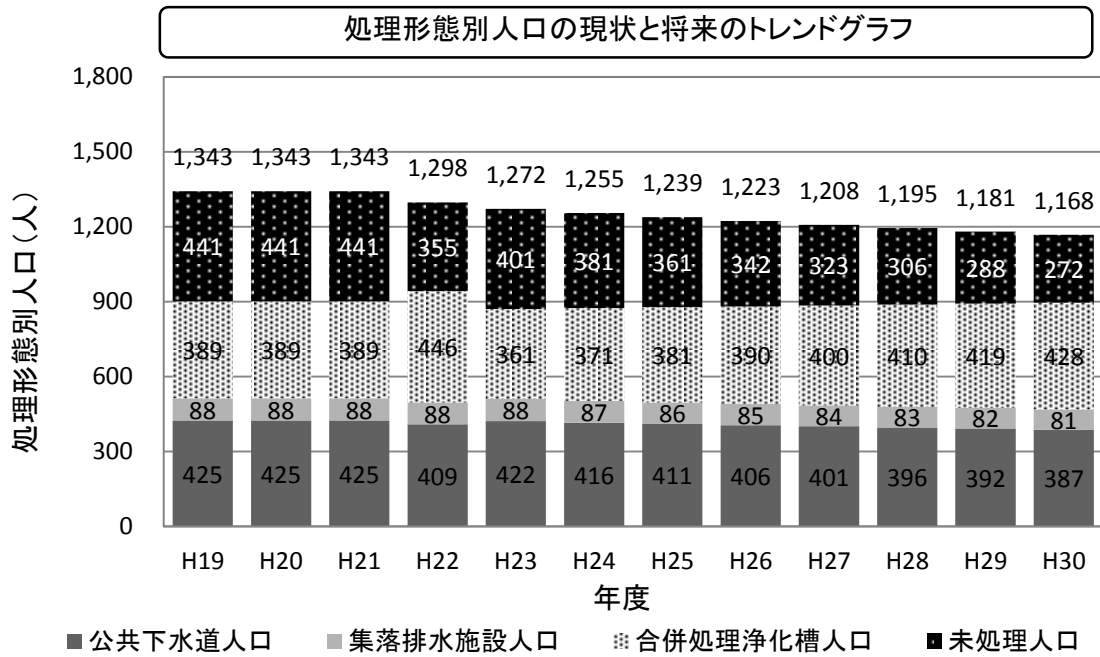
| | 概 | 要 |
|--------|------------------------|---|
| 事業主体 | (財)宮崎県環境整備公社 | |
| 施設名称 | エコクリーンプラザみやざき | |
| 所在地 | 宮崎市大字大瀬町字倉谷 6176-1 | |
| 埋立面積 | 54,600 m ² | |
| 全体容量 | 577,000 m ³ | |
| 埋立開始年月 | 平成 17 年 9 月 | |

添付資料④ 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ (1)

ごみ処理



生活排水処理



添付資料⑤ 地域内の施設の状況と予定（位置図）

地域内の施設の状況と予定

